

ラベルを使用したプログラムを変換する場合の注意事項

■発行

2016年2月(2018年3月改訂B版)

■適用機種

R04CPU, R04ENCPU, R08CPU, R08ENCPU, R08SFCPU-SET, R16CPU, R16ENCPU, R16SFCPU-SET, R32CPU, R32ENCPU, R32SFCPU-SET, R120CPU, R120ENCPU, R120SFCPU-SET

三菱電機シーケンサMELSEC iQ-Rシリーズに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

GX Works3を用いてラベルを使用したプログラムの変換を行い、STOP状態のMELSEC iQ-RシリーズCPUユニット(以下、RCPUと略す)に書き込んだ場合の注意事項についてお知らせします。

1 注意事項

ラベルを使用したプログラムの変換方法は、変換種別とラベル割付設定の組合せにより、下記の3種類があります。

- 全変換(再割付)
- 全変換(維持)
- 変換

下表は、それぞれの変換方法で変換したプログラムをSTOP中のRCPUに書き込み、RCPUをRUN状態に切り換えた場合のラベルデータの仕様です。

ラベルデータの現在値を維持しない変換を行った場合(下表の△部分に該当する変換を行った場合)は、ラベルデータのクリアを行ってから、RCPUをRUN状態に切り換えてください。ラベルデータをクリアする方法は、2ページラベルデータのクリア方法を参照してください。

○: ラベルデータの現在値を維持, △: ラベルデータの現在値を維持しない

プロジェクトに対する変更内容	変換種別(ラベル割付設定)					
	全変換(再割付)		全変換(維持)		変換	
	グローバル	ローカル	グローバル	ローカル	グローバル	ローカル
ラベル定義の追加/変更*1	△	△	○*2	△*3	○*2	△*3
ラベル定義の一部を削除	△	△	○	○	○	○
ラベル定義の追加/変更/削除なし(プログラムのみを変更)	△	△	○	○	○	○

*1 ラベル定義の変更とは、あらかじめ定義されているラベルのラベル名やデータ型、クラス、ラベル初期値など、ラベルエディタで設定した情報を変更することです。

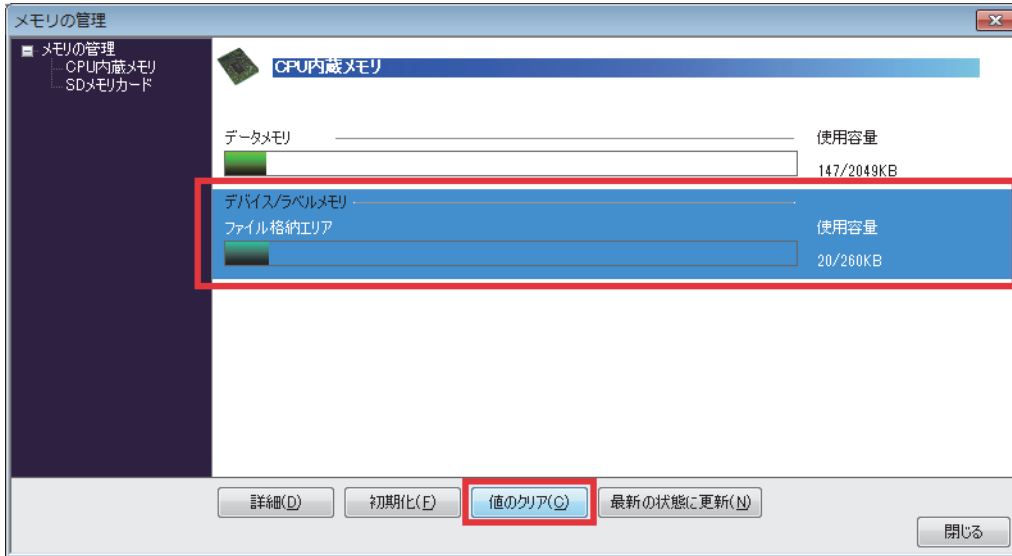
*2 追加/変更対象のラベルについては、新しいメモリを割り付けるため、ラベルデータの現在値がありませんので、追加/変更対象のラベルをGX Works3のウォッチウィンドウへ登録し、現在値を初期化してください。

*3 追加/変更対象外のラベルデータの現在値を維持する必要がある場合は、“変換+RUN中書き込み”を実施してください。なお、RnSFCPU-SETでは、安全ラベルを変更した場合の“変換+RUN中書き込み”には対応していません。

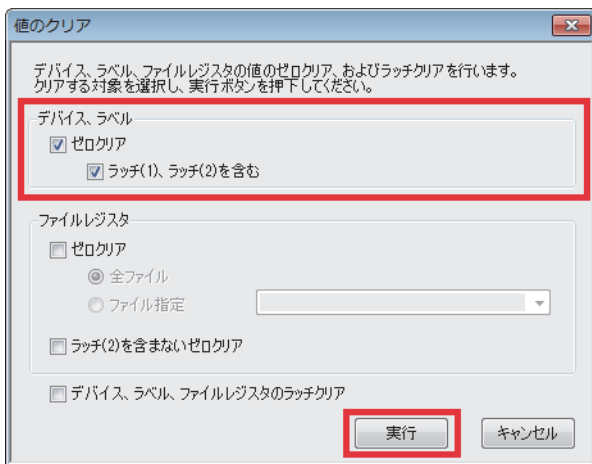
2 ラベルデータのクリア方法

下記に示す操作を行うことで、すべてのラベルデータの現在値をクリアします。

1. [オンライン]⇒[CPUメモリ操作]を選択します。
2. "メモリの管理"画面で"デバイス/ラベルメモリ"を選択し、[値のクリア]ボタンをクリックします。



3. "値のクリア"画面で"デバイス、ラベル"の"ゼロクリア"および"ラッチ(1)、ラッチ(2)を含む"を選択し、[実行]ボタンをクリックします。



3 仕様変更内容

GX Works3にて、ラベル定義の追加/変更に伴う全変換(維持), または変換を行った場合に、ラベル定義の追加/変更対象外となるローカルラベルデータの現在値を維持するよう、仕様を変更しました。

○: ラベルデータの現在値を維持, △: ラベルデータの現在値を維持しない

プロジェクトに対する変更内容	変換種別(ラベル割付設定)					
	全変換(再割付)		全変換(維持)		変換	
	グローバル	ローカル	グローバル	ローカル	グローバル	ローカル
ラベル定義の追加/変更	△	△	○	△→○	○	△→○
ラベル定義の一部を削除	△	△	○	○	○	○
ラベル定義の追加/変更/削除なし(プログラムのみを変更)	△	△	○	○	○	○

FA-D-0202-B

4 対象機種

下記製品より、2ページ仕様変更内容に記載の仕様変更に対応しました。

形名	ファームウェアバージョン
R04CPU, R08CPU, R16CPU, R32CPU, R120CPU	"18"以降(2016年2月生産分以降)
R04ENCPU, R08ENCPU, R16ENCPU, R32ENCPU, R120ENCPU	"08"以降(2016年2月生産分以降)
R08SFCPU-SET, R16SFCPU-SET, R32SFCPU-SET, R120SFCPU-SET	"07"以降(2016年11月生産分以降)

改訂履歴

副番	発行年月	改訂内容
—	2016年2月	初版
A	2017年1月	1章, 4章を修正しました。
B	2018年3月	e-Manualに対応しました。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20 (花京院スクエア)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビルディング)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
静岡支店	〒422-8067	静岡市駿河区南町14-25 (エスパティオビル)	(054) 202-5630
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20 (グランフロント大阪タワーA)	(06) 6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

三菱電機 FA
検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

三菱電機FA機器電話, FAX技術相談

●電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	対象機種	電話番号
MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサ一般	052-711-5111	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271*2	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/Aシリーズ)	
ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)	
アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/Aシリーズ)	
MELSOFT シーケンサプログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
MELSOFT 統合エンジニアリング環境 iQ Sensor Solution	MELSOFT iQ Works (Navigator)	シンプルモーションボード	
MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	C言語コントローラ	
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	インタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジションボード	
C言語コントローラ		MELSOFT MTシリーズ/ MRシリーズ/EMシリーズ	
MELSEC iQ-R/Q/L/QnA/Aシーケンサ	052-712-2370*3	センサレスサーボ	
MELSEC iQ-R/Q二重化	052-712-2830*2*3	インバータ	052-722-2182
MELSEC Safety	052-712-3079*2*3	三相モータ	0536-25-0900*3*4
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット	052-719-4557*2*3	ロボット	052-721-0100
センサ MELSENSOR	052-799-9495*3	電磁クラッチ・ブレーキ/デンジョンコントローラ	052-712-5430*5
表示器	052-712-2417	データ収集アナライザ	052-712-5440*5
		低圧開閉器	052-719-4170
		低圧遮断器	052-719-4559
		電力管理用計器	052-719-4556
		省エネ支援機器	052-719-4557*2*3
		小容量UPS (5kVA以下)	052-799-9489*3*6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
 *1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く *2: 金曜は17:00まで *3: 土曜・日曜・祝日を除く *4: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
 *5: 受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) *6: 月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号	対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340	低圧遮断器	084-926-8280
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258*7	電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340
低圧開閉器	0574-61-1955		

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
 ※7: 月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

⚠ 安全に関するご注意 本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。